

8-11

口腔ケアの取組み

いかに口腔ケア浸透させるか

口腔ケア

介護予防

特別養護老人ホーム ゆたか苑

介護職員 森 智弘

介護職員 山脇 啓子

東京都豊島区长崎3-26-4

TEL : 03-3959-2129

E-mail : yutaka-c@douen.jp

FAX : 03-3959-2149

URL : http://blog.yutakaen.net/

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人立で平成8年4月、隣接する長崎公園とともにゆたか苑は開設されました。50床の特養で現在4床のショートステイを併設しています。その他居宅介護支援事業では2名のケアマネージャーが地域で元気に活躍しています。

〈取り組んだ課題〉

- 1) 平成19年度より新しく口腔ケア係りがつくられ、今まで十分に口腔ケアが行き届いていなかった、朝・昼の口腔ケアを浸透させることを目標に職員の知識・技術の習得、意識向上を目指す。
- 2) 誤嚥性肺炎などの疾病による利用者のADL低下を防ぐ。

〈具体的な取組み〉

- ① 歯科医師、歯科衛生士による定期的な（月2回）往診により口腔環境を維持する。その他個々の利用者ごとに職員衛生指導を行った。（月1回）
- ② 歯科医師（口腔機能）、歯科衛生士（口腔衛生）によるOJTを開催し職員の知識・技術の習得、意識向上を目指した。
- ③ 朝食後、食堂からフロアへ戻る際のエレベーターに乗るまでの待ち時間を利用し特にケアを必要とする利用者数名の介助を食堂洗面台にて毎朝必ず行った。
- ④ 口腔ケア個別マニュアル・チェック表を作成し口腔ケアの標準化を図った。
- ⑤ 職員にアンケート調査を行い役割分担や改善点などを検討した。
- ⑥ 居室洗面台の整備
- ⑦ 某企業の新商品開発（カテキンジェル）のサンプル使用によるヒト摂取試験に協力：カテキンによる口腔内の免疫保持や菌の繁殖を防ぐ効果についての調査試験。（期間：平成19年12月～平成20年2月 内容：昼間の

口腔ケア）使用期間に月1回歯科により唾液、口臭、口腔乾燥の検査を行った。

〈活動の成果と評価〉

- A) 定期的な歯科医師往診によりその時の利用者の口腔内の状態を確認し適切なケアを行えるようになった。
- I) OJTの開催により職員の口腔機能、口腔衛生の知識の習得と意識向上につながった。
- U) 食堂での口腔ケアにより職員の口腔ケアに対する習慣化への第一歩となった。
- E) 某企業のサンプルでは時間帯を昼食後（ゆたか苑）と就前（他施設）の時間帯の比較として2施設で行った。某企業、某大学歯学部よりその効果について結果報告が行われ、口腔内の細菌についての知識習得にもなった。施設としての社会的貢献や地域医療（歯科）との結びつきが強くなり、職員の口腔ケアに対する重要性の認識と習慣化により、介護技術が向上し、口腔環境が改善され、ご利用者の健康推進といった大きな成果につながった。

〈今後の課題〉

- ・介護予防の側面から嚥下のトレーニングを取り入れ職員の更なる技術向上と予防に努めていく。

【メモ欄】